

加後又三帝

井伊掃部政隆

言橋良之助

勝部龍太郎

永井福左衛門

田中源吉

志保谷仁平治

長田徳右衛門

右ノ通見分ニ付テ上

前中納言極少輔申正月晦日於弘道館山家申ニ序見
江作月凡人數七百八人祿麻上下並用五拾八位宛出席大
以若助教石河幹次郎清上ニ一回お禮

我等事一昨午深々怪某國政向ニ携リ不
以しを勿論世上ニ事耳ト不入ト云此度

勅書返納シ在侍奏方諸司代也
何出有ハ

順大光より中少有ニ尚又速ニ返上ニ致旨申渡有

ニ中少後對馬守磯川ニ中納言并家左左進お見

仕此の書付ニ就
何の上ニ速ニ返上不

遊下
御遠勅お來り不
此速ニ返上ニ致

松中少い領より由に早迷に返上して後候にふり得在
中納言家老初役人たるも勿論家中一同名義と立
り候いたし一皮よの事と云まき尋く、日候と画一
いり有出来不しん得るも止り間

勅命に依り 公邊に相納りしと云流書と云密
速に返納して候も存然に而國中士民に中ぎ
勅書返納候しり候一切不あ候と云長恩亦多
人救出居いしもの中こそ虚言と云あり我等と云一
切返納不あ候松不知候しり候又出居いしもの^品候き
一我等^一付らぬ由を候中少しのし有しん^一候

人難悉致しり候に相ゆいあり取返たる事にて
いり候も多勢長恩に由居り候も其の邊相少^一
は来し候もあはれのとあり候に候に役人日對し不
口上或も上下に役人と候候是不候候も有し候
お聞り候も是も出居候り候も各義と立上云候も
あり候も交遣り家政あり候もあり候も中納言より不
相候我等、候し折柄對

公邊宗家殿上、素言士民と云あり候も取返しあり候
いり候も早速に川床下より役人相候り候り由
候り候も御儀と云あり候も、あつた^一事候り候

